

令和 2 年度
事業計画書

公益財団法人光市文化振興財団

光市文化センター事業計画

光市文化センターは、昭和55年の開館以来、光市の特色を踏まえながら歴史、芸術、科学などの文化活動を通して、市民への文化交流の機会を提供し、市民の文化活動に対する理解と親しみを深めるための事業を展開してきた。令和2年度も文化センターの果たす役割や使命を意識した活動を展開し、かつ本館のもつ機能を十分に活かしながら教育や文化の充実発展に寄与するとともに、「文化の創造は市民自らの手で」の趣旨のもと、引き続き地域文化の継承・発展に地道な努力を続けていく。また、文化活動の拠点として、造形活動の推進、歴史・民俗資料の調査・保存・啓発、自然科学分野の啓蒙等を行うとともに、下記の事業を実施し、地域に根ざした運営を目指す。

企画展では、第14回目となる「光市作家展」を実施し、市内の作家の紹介に努めながら造形活動に対する理解と普及を図る。さらに今年度は、松尾忠男写真展（仮称）と町田雪城書道展（仮称）を開催し、寄贈された作品を市民に広く紹介することにより、市民の芸術活動に対する興味・関心を喚起するとともに、様々な分野の活動の底辺拡大を図る。

第16回目となる「光市美術展」では、広報活動を強化し、広く市民より多くの作品の募集に努めるとともに、美術を通じた交流を促進する。また、今年度で9回目を迎える市民参加の「わが家所蔵の美術品展」も引き続き実施する。

教育普及活動では、歴史講座として「成人大学講座」、夏休みに小学校4～6年生の児童を対象に「夏休み子ども陶芸教室」を引き続き開催する。また、昨年度新規事業として実施した「ひかり歴史探検クイズラリー」をPartⅡとして引き続き行い、郷土の歴史と文化財等を多くの市民に知ってもらうとともに、「光市の歴史文化」編纂後の具体的活用例としていく。

以上のような事業を推し進めていきながら、市民に愛され、地域に親しまれる施設を目指して邁進していきたい。

1 常設展示

(1) 美術展示室

企画展や貸館の合間にテーマを設定して展示を行い、できる限り多くの館蔵美術品を市民に公開する。特に、近年寄贈されたものや未公開作品を中心に展示を行う。

(2) 歴史民俗展示室・自然史展示室

基本的には通史展示を踏襲するが、今年度は光海軍工廠開庁80年となるので工廠関連の展示を充実させるとともに、平和教育を意識した展示としたい。

2 企画展示

- (1) 第39回滯美展 会期 4月3日(金)～4月12日(日)

毎週木曜日に実施している絵画教室の作品展で、1年間の学習成果を発表し、これからの学習の励みとする。

- (2) 文化センター彫塑教室展 会期 5月28日(木)～5月31日(日)

隔週土曜日に実施している彫塑教室の作品展で、今回は3回目である。これまでの学習の成果を発表し、今後の創作活動の励みとする。

- (3) 光市作家展 会期 6月13日(土)～6月28日(日)

作家として光市に深く関わりを持って活躍されている人の作品展を開催し、より多くの市民や美術愛好家にその作家の姿を知ってもらう。また、作品や人柄を通して、多くの人に影響を与えている作家の紹介は、造形活動を広めることになる。

今年度は、全国展でも活躍している市美展の招待作家である洋画の「田村千晶」氏と松涛窯の指導者で陶芸の「梅崎光枝」氏を紹介する。

- (4) 松尾忠男写真展(仮称) 会期 7月25日(土)～8月23日(日)

神奈川県藤沢市在住で、旧大和町塩田出身の写真家松尾忠男氏から、令和元年12月に60点の写真と3点の写真集が寄贈される。この度の写真展をとおして、地元出身の独創的な写真家がいることを市民に広く紹介するとともに、その斬新的な作品から表現することの楽しさや喜びを感じ取り、市民の芸術活動に対する興味関心を高めていく。

- (5) 第16回光市美術展 会期 10月27日(火)～11月8日(日)

市民参加の公募展として、光市をはじめ光市教育委員会、光文化協会、当財団が一体となり実施する。会期は、部門別に前期、後期に分けて実施する。

平成29年度から、大賞受賞作家の更なる活躍と創作の支援を目的に、大賞受賞作を買上げ、常設で公開し顕彰する。

- (6) 町田雪城書道展(仮称) 会期 11月21日(土)～1月10日(日)

光市虹ヶ丘出身、故町田雪城(本名:敦賢)氏のご妻女から、平成28年度に続き令和元年12月に34点の作品が追贈された。雪城氏は光市の書道活動の発展に尽力された草分け的な存在でもあり、この度の展示会を開催することにより、改めて市民に広く紹介し同氏の功績を称えるとともに、市民の書道活動に対する興味関心を喚起し、芸術活動発展の一助としていきたい。

- (7) 文化センター水彩画教室展 会期 2月

隔週日曜日に実施している水彩画教室の作品展で、一年間の学習成果を発表し、これ

からの学習の励みとする。

(8) わが家所蔵の美術品展 会期 3月

家庭や事業所などにある愛蔵・秘蔵品を持ち寄り公開することで、個人コレクションを広く市民に鑑賞してもらうとともに、市民同士の文化交流の一助とする。また、貴重な作品が将来にわたって継承され、後世まで語り継がれていく機会とする。

3 教育普及活動

(1) 成人大学講座

郷土山口県、光市に関わりのある人物、歴史に関する内容を中心に、教養講座を開催する。定員45人とし、年間7講座で、受講料は年間1,500円とする。

※昨年度から当財団の経費で実施している。

講義内容	講師	開催日
江戸時代人が語る 宮本武蔵	梅光学院大学文学部 教授 倉本 昭	5月16日(土)
長州藩を救った吉川 公	岩国市立徴古館 副館長 松岡 智訓	6月13日(土)
江戸時代の天皇と 皇位継承	山口大学文学部 准教授 石田 俊	7月18日(土)
光地域の歴史的遺産 について	徳山工業高等専門学校 准教授 中川 明子	8月22日(土)
中学生は今どんな歴 史を学んでいるか	岩国市立通津中学校 校長 加藤 浩久	9月19日(土)
性空の生涯を旅する	光地方史研究会 会長 植村 芳弘	11月14日(土)
光海軍工廠の歴史	光地方史研究会 会員 秋本 元之	12月12日(土)

(2) 絵画教室

基礎的な知識、技術を身に付けた成人を対象に、デッサン、油彩画の実技指導により技量の向上を図る。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講 師 河村純一郎先生（洋画家、行動美術協会会員、周南市在住）

開催日 毎週木曜日

(3) 水彩画教室

初心者を対象に絵画の基礎から指導し、絵画人口の底辺を拡大する。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講 師 岡村 毅先生（創美会会員）

開催日 毎月第1、第3日曜日

(4) 彫塑教室

造形活動の中で、立体分野における発展を願って実施する。立体造形に関する基礎的な知識と、創造的スキルを修得してもらい普及していく。会員は20人を限度とし、希望者は随時入会を受け付ける。

講 師 末廣修實先生（彫塑作家）

開催日 毎月第2、第4土曜日

(5) 湯呑みづくりの会

陶芸による湯呑み作りや、茶道用具制作の基本技術の習得及び、現代的な陶芸作品作りを目指し、この会を自主的な同好会の一翼として発展させる。会員は、15人を限度として希望者は随時入会を受け付ける。

講 師 村山嘉憲先生（陶芸作家）

開催日 毎月第1、第3水曜日

(6) 夏休み子ども陶芸教室

小学校4～6年の児童を対象に、「湯呑みづくりの会」の協力を得て、発達段階に応じた焼き物作りを体験させる。この教室での活動をとおして、造形に対する興味・関心を高め、併せて当館の活動に目を向けさせていく。

講 師 湯呑みづくりの会

開催日 7月26日（日）、8月8日（土）

定 員 30人 参加費 500円

(7) 小学生の社会科見学や中学生の職場体験への対応

各学校の教育活動に即応した資料収集および展示を行い、社会科見学のプログラムを充実させるとともに、学校教育現場との連携を図っていく。

(8) ひかり歴史探検クイズラリーPart II

光市には、貴重な史跡、有形文化財が数多くある。これらの史跡、有形文化財及び文

化施設を多くの市民に知ってもらうとともに、「光市の歴史文化」編纂後の具体的活用
例としていく。具体的には、参加者にマップとクイズ帳を配り、クイズラリー形式で文
化財、史跡、資料館（伊藤公資料館、ふるさと郷土館、光市文化センター）を巡っても
らう。指定された32箇所の内、16箇所以上を廻り、クイズに10問以上正解すれば
修了とする。

対象者：誰でも参加可能。ただし、小学生以下は保護者が必ず同伴で廻ること。

期 間：7月21日（火）から10月9日（金）

修了者：記念品を贈呈

4 絵画貸出事業

財団の情報誌『虹』や当館のホームページ、市広報等により、広報活動を積極的に行い利
用者の拡大を図る。

5 資料収集活動

（1）美術資料の収集

光市ゆかりの物故作家の作品を収集し、館蔵美術品の充実を図る。

（2）歴史・民俗資料の収集

6 資料の整理

（1）長年に渡る資料収集活動からくる慢性的な収蔵場所の不足や、新たに収集する資料の
収蔵場所を確保するため、民俗資料保存の基本ルールの作成や収蔵庫の保管棚の改修を
検討する。

（2）平成28年度から進めている清水家文書、難波家文書の解読作業を、郷土史家の協力
を得て継続する。

7 市民の文化活動等への協力

（1）文化活動の発表や学習の場を提供し、市民サービスに努める。

（2）学校現場等へ館蔵資料を提供する。

光市民ホール事業計画

光市民ホールは、開館以来、市民文化活動、芸術文化・舞台芸術の中核・拠点施設、並びに市民の集会場として、光文化協会等の関係機関・団体との連携により、市民夏季大学をはじめ音楽、演劇、伝統芸能などの各種文化関係事業及び貸館事業を実施してきた。

昨今の社会環境の変化により、市民ニーズは大きく変容しているが、開館から49年目となる公立文化施設としての市民ホールは、市民の自主的な芸術文化活動の拠点として、今後とも引き続き果たすべき役割は、大きいものがあると考えます。

このような状況から、多様化・高度化が進む市民のニーズに的確に対応し、市民文化の向上に向け、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため下記の事業を実施する。

なお、大ホール等の空調機改修工事（12月から3月）が市により予定されており、例年12月以降に開催している事業については、11月までに前倒して実施する。

1 自主文化事業

（1）第49回市民夏季大学

市民夏季大学は、昭和47年の市民ホール開館以来の恒例行事として、市民の間に広く定着している。近年の社会環境の変化により、受講年齢層、受講人数等が変化していく中で、多様化する市民の学習ニーズに対応する学習機会を提供するために、各界で活躍している話題性が高く集客力のある著名人を講師として招く。

講師のキャリア、経験や体験談等を直接見聞し、その成果や教訓、幅広い識見からの考え方や含蓄のある人生論等を学ぶ市民教養講座、テーマ性のある生涯学習講座として開催する。

会場 大ホール

○第1講座 加藤英明（静岡大学教育学部講師・爬虫類学者・生態学者）

日時 7月10日（金）

演題 ありのままに生きてます ～見習いたくなるいきもの物語～

○第2講座 千田嘉博（奈良大学教授・城郭考古学者）

日時 7月17日（金）

演題 岩国城と山口の城

○第3講座 コシノジュンコ（デザイナー）

日時 8月6日（木）

演題 ファッションの力 ～ファッションで世界を照らし、切り開く～

(2) その他自主文化事業

ア 第5回ストリートダンスフェスティバルin光

日時 4月5日(日)

会場 大ホール

内容 中学校保健体育でのダンスの必修化に伴い、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒が増加し、市民の関心も高くなっているため、ダンスを学ぶ児童や生徒を対象に、日頃の活動や練習の成果を発表する機会を提供する。

イ スタインウェイピアノ開放事業

第12回 ピアノマラソン みんなで弾こうスタインウェイ!

日時 5月16日(土)・17日(日)

会場 大ホール

内容 初心者から高齢者まで幅広い層を対象に、音楽を愛しピアノに関心のある人が、世界で最も有名なピアノのひとつ「スタインウェイ」に触れる機会をつくり、世界の名器を使用したステージ演奏の場を提供する。

ウ 精華女子高等学校吹奏楽部コンサート

日時 5月31日(日)

会場 光市総合体育館(メインアリーナ)

内容 高校吹奏楽部の国内最高峰といわれる精華女子高校吹奏楽部を招聘して吹奏楽コンサートを開催する。今年度は会場を光市総合体育館とし、マーチングパレードを主体とした演奏会を(公財)光市スポーツ振興会との共催で開催する。

エ 小学校音楽・演劇教室(学校引率)

音楽教室「アンデスの音楽～大地の賛歌～」

日時 6月11日(木)

会場 大ホール

対象 市内小学校5・6年生

内容 次代を担う小学生の情操教育の充実及び芸術文化学習の推進を図るため、市内の小学校5・6年生に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供する。

今年度は南米ボリビアから民族音楽グループを招き、本場のフォルクローレ音楽を鑑賞する。

オ 会員招待公演 林家三平講演会「笑い与健康」

日時 6月14日(日)

会場 大ホール

内容 光の文化を高める会の会員招待公演として、人気テレビ番組「笑点」をはじめ各方面で活躍中の林家三平を招いての講演会(後半は落語独演会)を開催する。(会員以外は有料)

カ 岡坂弘毅 故郷コンサート

オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」

日時 7月4日(土)

会場 大ホール

内容 光市出身のオペラ歌手「岡坂弘毅」のオペラコンサートを、ボッカ・デル・モンテ(代表:岡坂弘毅)との共催で開催する。

キ 優秀映画鑑賞会

第6回光市民ホール名画劇場

時期 8月上旬

会場 小ホール

内容 優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、文化庁及び国立映画アーカイブにより実施される優秀映画鑑賞推進事業を誘致し、廉価な入場料による映画鑑賞会を開催する。優れた日本映画を鑑賞するとともに、映画保存への理解を深めてもらうことを目的としている。

ク 岡本知高 ソプラニスタ・コンサート

日時 8月16日(日)

会場 大ホール

内容 世界で3人だけと言われる女性ソプラノの音域を持つ男性ソプラノ歌手「岡本知高」のコンサートを開催する。

ケ 古典芸能公演

日時 9月6日(日)

会場 小ホール

内容 落語、講談などの優れた古典芸能の鑑賞会を、市内の落語愛好グループ「光がんざき亭」との共催で開催する。

コ 第35回市民コンサート

日時 9月13日(日)

会場 大ホール

内容 音楽を愛する個人や団体が一堂に会し、日ごろの活動や練習の成果を発表することにより、互いの技量の向上を図るとともに、市民に優れた音楽の鑑賞機会を提供する。出演する児童・生徒については、今後の活躍と飛躍を期す機会とする。

サ 秋のコンサート

日時 10月中旬

会場 大ホール

内容 国内有名アーティストを招いて、秋のコンサートを開催する。現在、出演者を選定中。

シ 第35回うたごえ喫茶

日時 11月22日(日)

会場 小ホール

内容 昭和時代から根強い人気のある「うたごえ喫茶」を開催する。生バンドの伴奏にあわせ、懐かしい名曲の数々を参加者が思う存分歌える場を提供する

2 施設・設備の整備

来館者の安全を確保し、快適な施設環境を維持するため、定期的な機器等の更新に加えて建築後48年が経過した施設・設備の経年劣化箇所についても、光市教育委員会と協議しながら改修・更新を行う。

3 市民文化意識の高揚と文化事業の広報

- (1) 財団友の会（通称：光の文化を高める会）の会員の増加を図るとともに、会員向けの広報活動の推進に努める。
- (2) 財団情報誌『虹』やホームページ及びフェイスブック等を活用し、各種自主文化事業の周知を図る。
- (3) 各報道機関への情報提供に努める。

4 貸館業務

指定管理者としての認識のもと、舞台芸術や市民文化活動の拠点施設として、地域に根ざした使いやすい施設の維持、管理に努める。

光ふるさと郷土館事業計画

光ふるさと郷土館は、港町室積の商家の建物を活かした伝統文化の継承とふるさとの歴史や文化の発掘、資料の収集や展示を行うとともに、地域の活性化を図るため、光市の観光や地域文化の創造・発表の場として特色ある運営をめざす。

1 常設展示

江戸時代以降、室積に寄港していた北前船に関する資料や醤油の醸造道具、商家の帳場などを通じて、当時の室積の役割など人々の生活や文化を紹介する。

2 ギャラリー展示

タイトル	出品者	会期
「ちぎり絵展」 ～自然の声に心を開く～	森山 修二	4月19日(日) ～ 4月26日(日)
オカリナ展示会 ～土と竹の出会い～	松本 真実	5月 9日(土) ～ 5月24日(日)
第2回姉・弟展	浅村秋江・竹重秀治	6月11日(木) ～ 6月21日(日)
手描き友禅展	田村 輝子 他	7月 1日(水) ～ 7月19日(日)
松本英三新作木版画展	堀永 敦臣	8月 7日(金) ～ 8月23日(日)
光紙芝居15周年記念 原画展	末岡 美由紀	8月27日(木) ～ 9月10日(木)
書展	雅宵(西岡 久美子)	9月15日(火) ～ 9月30日(水)
室積秋まつり展	光市室積山車保存会	10月3日(土) ～10月11日(日)
絵画展	中山 満	10月15日(木) ～10月25日(日)
つまみ細工展	春葉(阿部 郁子)	11月7日(土) ～11月23日(祝・月)
楽書展	虹雪書心会	12月4日(金) ～12月20日(日)

かるた原画展	小田 玲子	1月 9日(土) ～ 1月24日(日)
--------	-------	------------------------

3 イベント等

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| (1) 郷土館端午の節句 | 4月10日(金)～5月6日(水) |
| (2) 普賢まつりの開館時間延長 | 5月14日(木) ※19時まで開館延長 |
| (3) REDLISTコンサート | 6月21日(日) 14時～15時 |
| (4) 五感で感じる郷土の夏 | 7月18日(土)～8月30日(日) |
| (5) サメの歯展示(県漁協光支店所蔵) | 7月18日(土)～8月30日(日) |
| (6) 秋の夜長と邦楽の夕べ(邦楽虹の会) | 9月19日(土) 19時～20時30分 |
| (7) 早長八幡宮秋まつりの開館時間延長 | 10月11日(日) ※19時まで開館延長 |
| (8) ソレイユトリオコンサート | 11月 1日(日) 14時～15時 |
| (9) Christmas 音楽会in醬油蔵 2020 | 12月 6日(日) 14時～15時 |
| (10) 郷土館のひなまつり | 2月 5日(金)～3月14日(日) |

4 教育普及活動

(1) 古文書講座

毎月2回、光市関係の古文書を中心に解説講座を開催

(2) 小中学校の社会科見学や総合学習への対応

学校の教育活動に対応した資料の収集と、見学時の内容充実と説明

(3) 講座や教室の開催

ア 歴史講座

(ア) 郷土史を中心とした教養講座 7月19日(日) 10時～12時

(イ) 古文書の会研究発表 11月 8日(日) 10時～12時

イ 手作り教室

(ア) 竹プランター作り 5月24日(日)

(イ) 古着で作るハガキ掛け① 6月14日(日)

(ウ) 古着で作るハガキ掛け② 6月20日(土)

(エ) 親子で作る竹細工 7月23日(祝・木)

(オ) 親子で作る水鉄砲・竹とんぼ 8月 8日(土)～8月10日(月)

(カ) 竹で作る干支 11月29日(日)

(キ) ミニ門松作り 12月20日(日)

(ク) つまみ細工教室 2月14日(日)

5 その他

- (1) 休憩室などを利用したミニ展示
- (2) 地域観光の拠点施設としてマスコミや地域の関連団体との情報交換
- (3) ギャラリー展示利用者の発掘及び生涯学習の推進
- (4) 貸し部屋の利用促進
- (5) 郷土館運営懇話会の開催を10月中